

「しあわせ信州」を創造する  
地域活性化  
高度人材育成  
プログラム  
「ShinXia」

コース登録説明会

信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



## 本日のお話

テーマ1 <sup>シンシア</sup>ShinXiaとは？ ⇒まず知ることから

テーマ2 ものづくりスポット ⇒行ってみよう

テーマ3 ポートフォリオ ⇒入力してみよう

※食事をしながらで構いません。

※この資料はShinXia-LMSに掲載します。

信州のしあわせと、共に考え、共に創り出していくために。



# そもそもShinXiaコース登録って？

## 共通教育科目（体育科目以外）-応募

後期（随時）	集不定	橋本 規之
--------	-----	-------

締め切り	募集定員	現時点の応募者数
2026-06-24 23:59	30	0

### コメント・お知らせ

テスト

まだ応募は完了していません。下の【応募】ボタンをクリックして応募を完了してください。

「ShinXiaコース」を選択希望の学生はチェックしてください。

応募

共通教育科目でShinXia科目

- 信州学
- 生物学の世界
- 地域と福祉 など

を履修選択する画面で**チェック**



ShinXia科目を  
ShinXia-LMSで受講が可能に

# テーマ 1

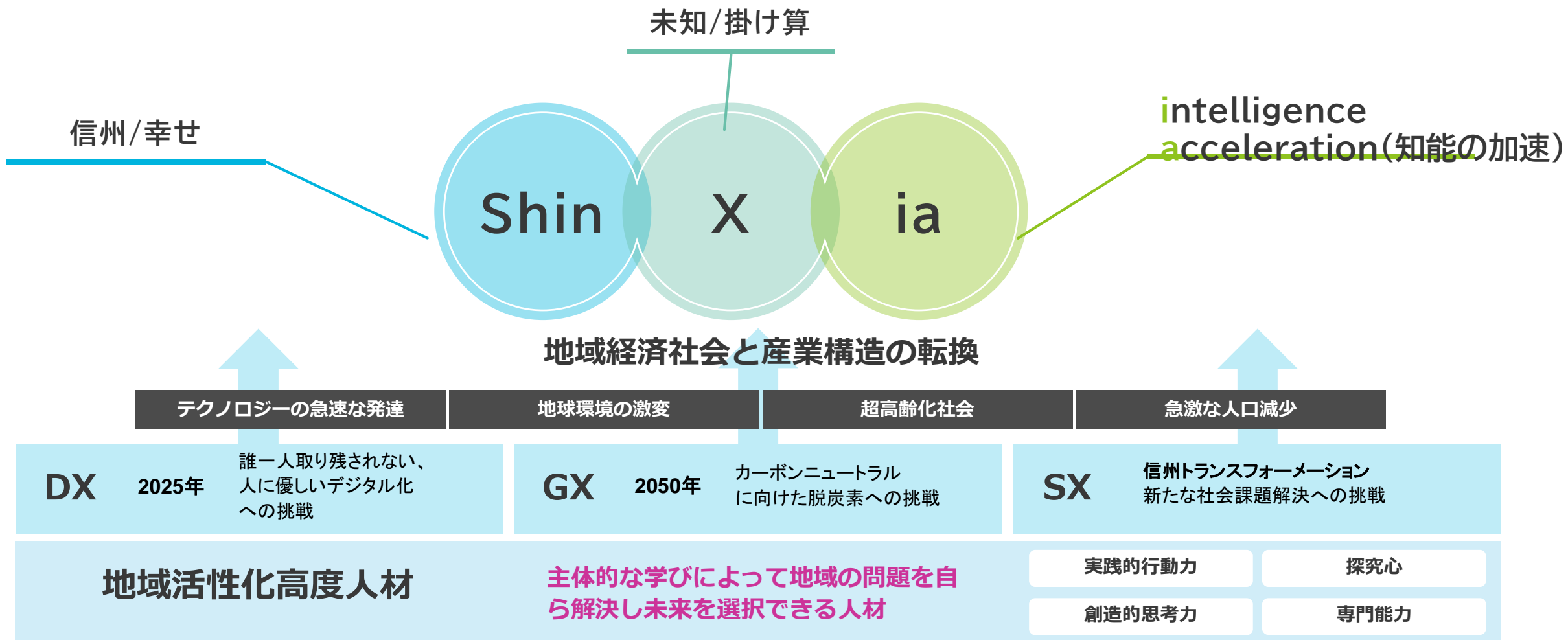
## ShinXia（シンシア）とは？

信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



# 「しあわせ信州」を創造する人材へ

自ら課題を発見し、**解決する力**を養います。



# ShinXiaプログラムは、県内の3つの大学が参加。 大学の枠を超えて、幅広い分野の専門知識を習得



公立大学法人  
**長野大学**

社会福祉学部

社会福祉学科

150人

経法学部

応用経済学科

100人

工学部

工学科(R8以降)

265人

- ・応用化学コース
- ・環境・エネルギー材料コース
- ・電気電子コース
- ・情報サイエンスコース
- ・情報デザインコース

繊維学部

先進繊維・感性工学科

65人

化学・材料学科

105人

人間福祉学部

人間福祉学科

70人

535人

※ 希望する  
学生のみ  
が履修

**755人**



学校法人 佐久学園  
**佐久大学**

# ShinXiaプログラムの特徴



## オンデマンド型授業

時間や場所に縛られず、自分のペースで学修可能。普段の大学では学べない他大学の特色ある科目にも挑戦できます。



## 文理横断の学び

人文・社会科学から自然科学まで。分野を横断して知識を組み合わせることで、現代社会に必要な柔軟な思考力を養います。



## 対話型授業

ゲスト講師との議論や学生同士の対話を通じて、「自分の軸」を発見。多様な価値観に触れ、視野を広げます。

# 修了証をゲットできます！

3大学学長名でサーティフケート(認証)  
紙の修了証以外に、デジタルのオープンバッジとして

## 《取得のメリット》

- ①専門(学位取得)以外に、  
大学で力を入れたものとしての証明
- ②卒業後も有用な、  
マイクロクレデンシャル(学習歴)として保有



サンプル



# 課題に出会い、 自分を超える。

ShinXiaプログラム 集大成：地域課題PBL 紹介



# 教室を飛び出し、リアルな社会課題に挑む。



## PBLとは

学生自らが現場に飛び込み、「課題を発見」し、「解決策を提案」する実践型学習。

## 目的

自治体・企業・NPO等と協働し、信州の活性化に資する「課題発見力・解決力・対話力」を実践的に習得する。

## アプローチ

単なる机上の空論ではなく、調査・対話・試行・提案を繰り返し、現場に根ざしたリアルな解決に挑戦します。

# R8年度の5つのコース(今の3年生の例)

自分が気になるテーマ、参加できるコースから選択

コース (Course)	実施手法 (Method)	テーマ・特徴 (Focus)
【Aコース】大規模・アクティブラーニング型 (長野大学提供)	大学内での大人数議論、企業・自治体招致	協働的な企画提案、プロセス重視の探究。
【Bコース】データ起点の企画提案型 信州大学経法学部 提供	実データを用いたPBL、オンライン併用	マーケティング課題、データ分析に基づく意思決定。
【Cコース】ものづくり提案型 信州大学工学部 提供	デジタルファブリケーション (3Dプリンター等)	アイデアを物理的な「形」にしてプロトタイプを作成する。
【Dコース】地域魅力発信型 信州大学繊維学部 提供	地域の魅力の掘り起こし	地域社会が抱える課題を理解し、その価値を再発見し発信する。
【Eコース】横断テーマ・フィールド型 信州大学SPARC本部 提供	学外でのフィールドワーク実践	現場に直接入り、受入主体と連携して課題解決に挑む。

# Aコース 大規模アクティブラーニング型(1)

## ▶ 学びの素材(2026年度)

### ① 自治体、民間事業者等が作成してくれた多様な地域課題集(動画コンテンツ)



② 「鳥の目(間口を広げる)」と「アリ目の目(深掘りする)」の建設的相互作用

③ 地域課題のパズルを体験する

④ 事例コンテンツ作成者は、出入り自由(オープンな空間の実現)

⑤ 事例コンテンツ集は増殖する、変化していく

# Aコース 大規模アクティブラーニング型(2)

## ▶ 授業風景

第4回RESAS講座より



第6回グループ「問い」の決定より



# Eコース① 初SAKE祝杯プロジェクト

信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



## 信州酒学：日本酒を軸に広がる、知と地域の「体系図」

「信州酒学」は、長野県の地酒を教育カリキュラムとして体系化した文理横断型のPBL(課題解決型学習)授業です。酒造りを多層的な視点から学ぶことで、若者の認知向上と地域の持続可能な発展を目指しています。

### 多角的な「学び」の広がり

15以上の領域が交差する文理横断型の学び

政治、経済、歴史から健康、環境まで、日本酒を起点に多様な学問領域を関連します。



酒蔵は「地域のインフラ」

酒蔵を農林業振興やESG、ブランディングを支える重要な地域拠点と再定義します。



農林業振興  
ESG  
ブランディング



日本酒から紐解く多層的な視点

米、水、税、発酵など、地域の資源が全て繋がっています。

### 実践から社会貢献へのプロセス



現場体験からキャリアデザインへ  
酒米作りや酒蔵実習を通じ、伝統産業を将来の職業選択肢の一つとして広げます。



シビックプライドの醸成とネットワーク化  
学びを通じて地域への誇りを育み、次世代の地域・社会貢献に繋がる知識を共有します。

カリキュラムの構成例(全15回の一部)

回 1-7

座学(オンデマンド)

回 2/5/9

実地(実習)

回 11-13

実地(実習)



日本酒の  
造り方



環境



お金



発酵の仕組み



酒米づくり体験



(田植え・収穫・稲刈り)



日本酒仕込み体験



(醸造・販売体験)

# Eコース① 初SAKE祝杯プロジェクト

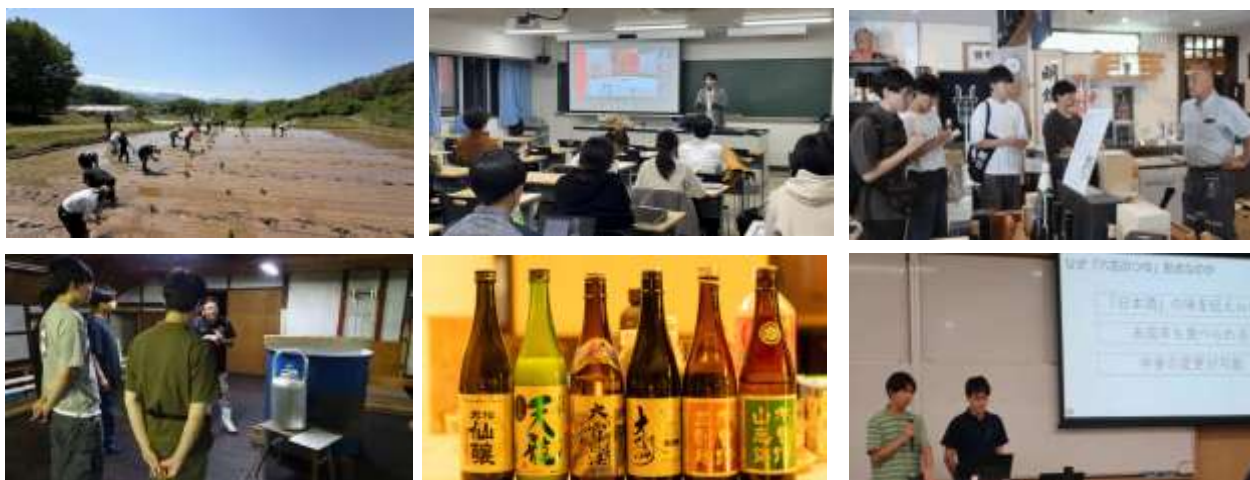
信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



「初SAKE祝杯プロジェクト」は、長野県佐久地域振興局と協働し、若者の日本酒離れという課題に対して、20歳の「最初の一杯」となる体験を学生自身がデザインし、実際にイベントを作り上げる実践的なプロジェクトです。

教室での座学にとどまらず、日本酒の基礎や伝え方を学んだ上で、酒蔵や小売店などの現場を訪問して課題を深く理解します。その後、チームで課題を再定義し、若者向けPRイベントの企画立案、広報・運営設計、リハールを経て実際のイベント運営までを一貫して行います。

この一連の活動を通して、ゼロからイベントを作り上げる「企画力」、酒蔵や県庁の方々など多様な関係者と協働する「対人力」、そして自身のアイデアを形にして伝える「表現力」を実践的に身につけることができます



FW	5月16日 (土)	田植えWorkshop@麻績村
第1回	5月23日 (土)	【座学】ガイダンス・プロジェクトの理解
第2回	5月23日 (土)	【座学】日本酒業界の現状と課題
第3回	6月6日 (土)	【座学】日本酒を知る・嗜む(1) (基礎)
第4回	6月6日 (土)	【座学】日本酒を知る・嗜む(2) (伝え方)
第5回 第6回	6月6日 (土)	【実践】現場理解 (酒蔵・小売の視点)
第7回	7月11日 (土)	【実践】課題の再定義・問いの設定
第8回	7月11日 (土)	【実践】イベント事例研究・発想法
第9回	7月25日 (土)	【実践】イベント企画設計(1)
第10回	7月25日 (土)	【実践】イベント企画設計(2)
FW	9月5日 (土)	日本酒PRイベント
第11回	9月12日 (土)	【実践】広報・運営設計
FW	9月27日 (日)	稲刈り@麻績村
FW	9月	酒蔵見学~今井酒造
第12回	10月10日 (土)	デモンストレーション
FW	10月24日 (土)	諏訪フィールドワーク 宮坂醸造
第13回 第14回	11月	イベント実施
第15回	12月	振り返り
	2月予定	合同成果発表

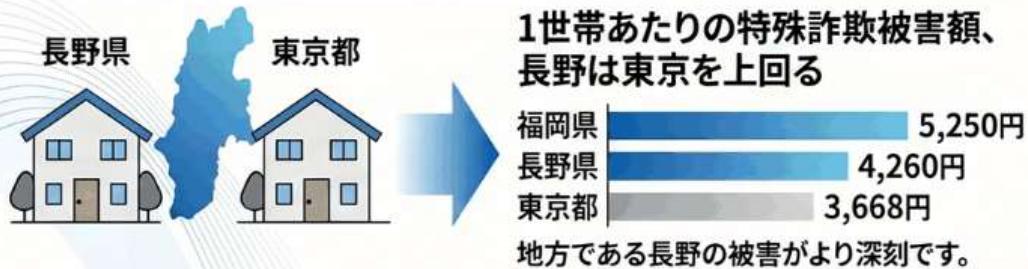
# Eコース② AI共生時代のDX人材育成

(株)スマートライフストアーズ共同研究

## AI共生時代を生き抜く力: 信州大学「デジタルライフプランナー」育成プログラム

デジタル化が進む中、AIが知識処理を担う時代に「人間にしかできない価値」を再定義し、家族や地域の暮らしを伴走支援する「デジタルライフプランナー(DLP)」を育成する実践型PBL。

### 1. 社会背景: なぜ今、長野でこの学びが必要か



#### 「教える窓口」の激減とデジタル格差



対面窓口が減り、助けが必要な人が孤立しています。

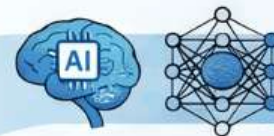
#### DLPは「教える人」ではなく「暮らしの担当者」

単なる操作説明ではなく、家族全体の未来の安全と持続性を継続的にデザインします。



### 2. 学習内容: AI時代に価値を生む「5つの中核能力」と実践

AIが「知識」を担い



AIが得意な情報整理

人は「意味づけと判断」を担う



人が担うべき感情・責任・関係を切り分けます。

実験・検証型アプローチで「人間力」を体系化



ロールプレイと実際の会員相談を通じ、再現可能な方法論を自ら構築します。

未来を創る5つのスキルセット



# Eコース② AI共生時代のDX人材育成

本プロジェクトは、AIやデジタル技術を活用しながら、身近な社会・地域の課題を発見し、問いとして再構成し、解決策を構想・検証する課題解決型PBLです。事例をもとに「課題のを見つけ方・立て方」を体験します。デジタル・AIツールの活用イメージや、コミュニケーションを駆使、ユーザーの課題の本質を探し、それに対しての解決方法を提案する実践型の学習です。

本講座は、**PCデポ（株）スマートライフストアーズ**と連携し、**共同研究として実施**しています。

この一連の活動を通して、ゼロからイベントを作り上げる「企画力」、文理の視点に捉われず、利用者に立場に立って考える「想像力」、そして自身のアイデアを形にして伝える「表現力」を実践的に身につけることができます。



回	日にち	曜日	内容	実施方法
1	4月8日	水	オリエンテーション   DLPとは何かと本講義の全体像	オンライン
2	5月1日	金	DLP概論   長野における役割とVMPAの理解	オンライン
3	5月8日	金	AI共生時代の人材定義   人にしかできない価値とは	オンライン
4	5月16日	土	深層理解①   傾聴力の検証 (事実と感情の分離)	対面
5		土	深層理解②   共感・汲み取りの実践 (ニーズの可視化)	対面
6	5月29日	金	深層理解の理論化   なぜ「聞く力」が価値になるのか	オンライン
7	6月5日	金	本質構造化力①   5分一枚化による情報整理	オンライン
8	6月6日	土	構造化実践①   情報の分解と再構築 (整理)	対面
9		土	構造化実践②   可視化と言語化 (伝わる形へ)	対面
10	6月19日	金	本質構造化力②   複雑な情報をシンプルにする技術	オンライン
11	6月26日	金	文脈翻訳力   技術を生活価値へ変換する思考	オンライン
12	7月4日	土	FAS波及設計①   個別最適から家族全体最適へ	対面
13		土	FAS波及設計②   継続支援と関係性設計の実践	対面
14	7月10日	金	家族責任設計力   暮らし全体を設計する視点	オンライン
15	7月17日	金	AIxDLP支援設計   人とAIの役割分担と設計思想	対面

## 地域課題PBL (前期・後期・通年(集中) から選択/対象:3年生以上/単位:2単位)

地域課題PBLは、地域社会が抱えるリアルな課題をテーマに、学生自身が「課題を見つけるところ」から「解決策を提案するところ」まで取り組む実践型の授業です。自治体・企業・NPOなど地域の多様な主体と連携し、調査やフィールドワーク、対話を重ねながら、現場に根ざした課題解決に挑戦します。教室での学びに加え、地域の人々との協働を通じて、課題発見力・解決力・対話力といった実践的な力を身につけることを目的としています。コースごとに、アクティブラーニング、ものづくり、合同・横断テーマなど異なるアプローチを取り入れ、多角的な視点から課題解決を考える授業です。授業は、①インプット→②課題設定→③グループワーク→④発表→⑤評価の流れで実施します。また、5コース合同成果報告会も行います。



### 5つのコースから選択

A 大規模・アクティブ ラーニング型	B テータ起点の 企画提案型	C ものづくり提案型	D 地域魅力発信型	E 横断テーマ ・フィールド型
長野大学	信州大学経法学部	信州大学工学部	信州大学繊維学部	3大学合同
企業や自治体を招き、大学内で実施する大人数のアクティブラーニングを行う。地域課題をテーマにPBLで問いを立て、調査・議論・提案を実施。グループで課題解決策を探究し、成果発表を行う実践型授業。	実データを用いたPBL形式で、データ活用計画から分析・意思決定までを実践。マーケティング課題に挑み、企画提案力と実社会で通用する課題解決力を養う授業。	TinkercadやBlenderで3D制作を学び、デジタルファブリケーションや3Dプリンターを体験。発想を用いたグループワークで商品企画を行い、成果発表まで行う実践型授業。	上田の自然・観光・文化・産業を学び、3D CADや絹・発酵、映像制作を実践。地域活性化コンテンツを企画・制作し、成果発表まで行う実践型授業。	3大学が協働し、10名ほどの混成チームで、企業や地域課題の解決実践型として実施する。地域活性化をテーマにPBLで課題構造化から分析、企画立案・実践まで行う。
前期・火曜4限	前期・月曜3限	前期・水曜3限	後期・月曜5限	夏季期間・土日集中
長野大学で実施	松本キャンパスで実施 オンライン併用	工学部キャンパス オンライン併用	繊維学部+地域FW	オンライン+各大学+地域FW



# 必修6単位を含む10単位修得で「地域活性化人材」に認定



各大学の  
教養教育

1年次

● 履修相談 / ガイダンス

必修

(前期) データサイエンスリテラシー 1単位

必修

(前期/後期) **信州学** 1単位 (前期)

選択必修

[科学] から2単位

選択必修

[工学・環境] から2単位

各大学の  
専門教育

2年次

必修

(前期) **経営組織論** 1単位

必修

(後期) **地域課題解析講座** 1単位

3年次～  
4年次

必修

(前期/後期 集中) **地域課題PBL** 2単位

◀ 単位取得、ポートフォリオ・自己評価を確認し、修了判定

● 修了認定デジタル証明 (オープンバッジ)

卒業  
認定

修了要件: **必修 6単位** **選択必修科目 4単位**、合計 **10単位** を取得することで、ShinXiaプログラムの修了認定を得る

# 文理融合、横断テーマで学ぶ授業群（選択）

## 数理的思考・科学・工学

- データサイエンスリテラシー
- 統計リテラシー
- 物理学・化学・生物学・地学の世界
- 工学入門・環境学入門

## リベラルアーツ・地域

- 信州学（信州の自然・文化・産業）
- 立志学
- 地域課題解析講座
- 経営組織論・社会福祉の考え方

## 起業家育成

- ミクロ経済学入門
- マクロ経済学入門
- 情報活用型ビジネスソリューション
- アントレプレナーシップ入門
- ビジネスとマネジメント
- 環境法入門

## 教育・健康・福祉・心理

- 社会福祉の考え方
- 地域と福祉
- こころとからだの健康
- STEAM教育概論
- 心理学

# 1年生後期選択科目「立志学」のススメ

回	日付	ゲスト講師
第1回	9/30	(オリエンテーション)
第2回	10/7	(藤岡先生への質問を考えるグループワーク)
第3回	10/21	<b>藤岡聡子先生</b> (ほっちのロッジ (軽井沢の診療所) 共同代表)
第4回	10/28	(上田先生への質問を考えるグループワーク)
第5回	11/4	<b>倉根明德先生</b> (上田市役所、上田から地域の未来を動かす実践者)
第6回	11/11	(奥田先生への質問を考えるグループワーク)
第7回	11/18	<b>奥田悠史先生</b> 信州大学OB (株式会社やまとわ、森と暮らしをつなぐ地域実践家)
第8回	11/25	(最終課題作成に向けたグループワーク)



藤岡聡子先生



倉根明德先生



奥田悠史先生

# 学びを加速するサポート



ShinXia学生パートナー

「ShinXiaプログラム」は、学生、大学教職員、地域が一体となって学びを推進してきます。しかし、一人で学ぶだけでなく、仲間と共に、またShinXia学生パートナーの先輩たちと共に活動もしていきます。

ShinXiaプログラムは15分の講義と小テストを組み合わせたオンデマンド授業で、空き時間に無理なく着実な学びを積み重ねられます。文理を問わず幅広い分野に挑戦でき、動画を止めて調べたり友達と相談したりと、自分のペースで進められるのも魅力です。視野を広げたい人に心からおすすめします。



信州大学2年  
濱田 蓮さん

## ShinXia ものづくりスポット

### アイデアを形にする場所

ShinXiaものづくりスポットには、3Dプリンタやレーザーカッター、大型インクジェットプリンタなどのアイデアを形にする機器が設置してあり、信州大学（松本・長野（工学）・上田キャンパス）および長野大学にあります。誰でも利用できるスペースですので、地域課題の解決に向けた試作品づくりや先輩学生にShinXia 科目の履修相談もできるので、ぜひご活用ください。



地域で学び、未来を拓く。

課題に出会い、自分を超える。

# 未来の自分への投資を、 今ここから。

前期必修科目「**信州学**」「**データサイエンスリテラシー**」

などを履修の際に

「**ShinXiaプログラムを受講する**」にチェックを入れると、コース登録できます。

ShinXiaに参加する

<https://sparc.nagano.jp/>

テーマ2

ものづくりスポット@中央図書館3F

信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。





つくる、試す、つながるShinXiaも  
のづくりスポット

# つくる、試す、つながるShinXiaものづくりスポット



制作方法の学習から多様なアウトプットを生み出す

ものづくり拠点では、専門技能の習得に留まらず、「考える→作る→試す→改善する」という一連のプロセスを通じて、課題発見から社会実装までを体験する文理横断型教育に位置づけています。

## ■ 取り組み紹介

① ノベルティのデザイン・制作による周知  
学生主体でオリジナルノベルティ(例: ShinXiaロゴ入りグッズ等)を企画・デザイン・出力して、学んだ技術を使い、洗練しながら、場所の周知をしています。



② モデリング講習と出力演習  
現行のCADや3Dモデリング講座と連動し、3Dプリンタによる出力までを一貫して学べるカリキュラムを運用中(地域課題)PBL\_Cコース。設計思考と具現化を同時に学ぶ教材として活用しています。



③ 出力+オンデマンドモデリング講座  
出力支援だけでなく、モデリングの基礎をオンライン講座化して展開。特に文系学生や非工学系への横展開を推進。



## ④ XR・VR・メタバースとの連携

VRゴーグルやXRアプリ(STAYLY等)と連携し、モデリングデータを仮想空間で表示・共有。他キャンパスとの遠隔・同期的な作品確認・フィードバックが可能。医療・介護・防災分野での体験型教育(避難、介護現場体験等)にも展開可能。



## ⑤ 地域との連携ワークショップ(PBL)

地域から課題や交流の機会をいただき、課題解決の講座やワークショップを実施します。地域課題PBLとも連携し取り組んでいます。



## ⑥ 学生によるPRイベント・展示企画

3D出力や作品を活用したイベント・展示をキャンパス内で実施。操作方法を学んだ学生が企画・運営し、SPARC事業やものづくり拠点のPRに寄与。誰でも「見える」「触れられる」場所に設置し、子供から大人まで交流できる拠点を目指しています。



# ■ものづくりスポットを「地域へ開く」取り組み

## ShinXia 3D X AIワークショップ

ShinXiaものづくりスポット



2026年6月26日 (金) 18:30~21:00  
信州大学 松本キャンパス 中央図書館 3F ものづくりスポット

- 内容**
1. スケッチ作成
  2. AIを使って、アイデアを3Dモデル化
  3. 3Dプリンタを使って出力 (使い方講座)

**ワークショップの流れ**

1. 手書き絵の作成  
手書きの絵を貼って頂きます。(事前に書いてもOKです)
2. ChatGPTで整える！  
ChatGPTと相談しながら、いい感じの3D画像に整えます。
3. Tripoで3D化！
4. 3DプリンタでOutput  
※最終に合わせて差し替えますので、初めてでも安心ください！

対象 全学部・学年  
定員 各回10名  
対象 どなたでもご参加いただけます。

申込 フォームからお申込みください  
先着順 ▶  
学出席 無料

つくる、試す、つながる、ShinXiaものづくりスポット  
SPARC推進本部 [sparc@shinshu-u.ac.jp](mailto:sparc@shinshu-u.ac.jp) HP: <https://sparc.nagano.jp/>

## わがごとくクエスト

～近場で見つける遊びと文化の宝探し～  
子ども大人楽しめる、ワークショップ・体験講座、お仕事体験、ステージ発表など  
わくわくイベントが大集合！

2026年5月2日 (Sat) 10:00~16:00  
イベント詳細はこちら ▶  
※一部有料イベントがございます。

スタンプを集めて  
チャームをもらおう！



地域交流

## 3Dプリンター体験講座 VOL.3

1からはじめる

6/9 (金) 18:30~

18:30~20:00・事前予約制  
信州大学中央図書館3階  
松本ものづくりスポット

体験講座を開催

思い立ったアイデアを、気軽に形にしてみませんか。  
3Dプリンターやレーザーカッター、VR、AIなどを使って、「考える→つくる→試す」を実現して体験できます。交換や学年は問いません。仲間や教員、地域の人と出会うしながら、わくわくするものづくりに挑戦できる場所です。

**POINT1** 操作方法学ぶ  
先輩学生が、機種の使い方をやさしく教えてくれます。初めての人も大歓迎です。

**POINT2** スポットを伝える  
講座を受講した方は、スポットを告知して、体験をもらうことができます。

**POINT3** みんなでつくる  
ものづくりの楽しさを実感したら、仲間たちと想い思いの品をつくっていきましょう。

対象 全学部・学年  
定員 各回10名  
対象 どなたでもご参加いただけます。

申込 フォームからお申込みください  
先着順 ▶  
学出席 無料

つくる、試す、つながる、ShinXiaものづくりスポット  
SPARC推進本部 [sparc@shinshu-u.ac.jp](mailto:sparc@shinshu-u.ac.jp) HP: <https://sparc.nagano.jp/>



学生講師による講座実施

多世代交流



# 3D CAD講座

3D CAD MODELING COURSE

「こんな形の小物があったら便利だな…」 「オリジナルのパーツを作ってみよう！」 そんなあなたのアイデア、画面の中だけで終わらせていませんか？

この講座では、ものづくりの第一歩となる「3DCAD」の基礎を、パソコンの操作から丁寧にレクチャーします。専門的な知識は一切不要！ 「楽しそう」というイメージを捨てて、パズルを組み立てるような感覚で、あなただけのデータを作ってみよう。作成したデータは、もちろん施設内の3Dプリンターで出力可能！ 「自分で思い描いたものが、実際に手で触れる立体になる」

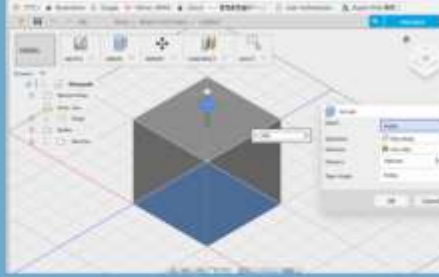
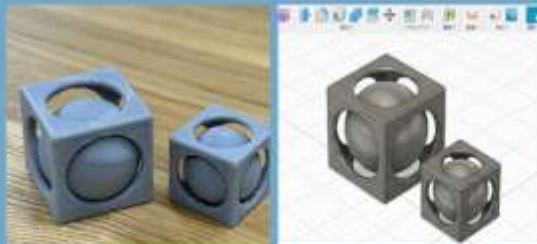
そのワクワクする瞬間を、ものづくりスポットで一緒に体験しませんか？

受講無料 | 定員 **10** 名

対象 全学部・学年

対象 どなたでもご参加いただけます。

申込 フォームからお申込みください  
先着順 ▶



初心者向講座



CAD基礎講座

2026. **6.19** FRI  
18:30-20:00

CADソフト「Fusion360」に挑戦！初心者も基本から楽しく学び、あなたのアイデアを立体にしよう！

レーザーカッターでも使いたい



CAD講座  
(レーザーカッター編)

2026. **6.23** THU  
18:30-20:00

Fusionでデザインし、レーザーカッターで出力！データ作成から加工まで楽しく学び、作品を作ろう！

3Dモデリングを学ぶ



Blender講座

2026. **6.29** MON  
18:30-20:00

無料ソフト「Blender」で自由にモデリング！データ作成から3Dプリンターでの出力まで楽しく学ぼう！

## ShinXiaものづくり拠点 オープンチャット

各地のものづくりスポットで行われる講座、イベントの情報をLINEのオープンチャットでお届けしています。情報を受け取りたい場合は、下記LINEオープンチャットをご登録ください

(入退室自由なLINEです)。



[オープンチャット「ShinXia ものづくりスポット」](#)



つくる、試す、つながる、ShinXiaものづくりスポット

SPARC推進本部 [parc@shinshu-u.ac.jp](mailto:parc@shinshu-u.ac.jp) HP:<https://sparc.nagano.jp/>

# テーマ3 ポートフォリオ

信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



## 3-1. ポートフォリオとは



信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



## はじめに：ポートフォリオとは？

- 毎学期の終わりに、自身の学びを振り返って、各項目に沿って自己評価することで、地域活性化人材としての現在地を把握する。

α：信州の活性化に係る知識・技能を有している。に関して	
1. 文理を問わず、信州の地域・社会の活性化に向けた知識が身についている。	
☆☆☆☆☆	強くそう思う
☆☆☆☆	そう思う
☆☆☆	どちらでもない
☆☆	そう思わない
☆	全くそう思わない

- 後ほど説明する項目に沿って、その時点の自分を5段階評価。
- 自己評価を踏まえ、次の学期で取り組みたいことについて目標設定する。
- ShinXiaコース全体を通じての成長の記録（学修成果の可視化）。



# 地域活性化人材とは？～ShinXia Learning Goals (SLGs)～

## 定義

文系・理系の枠を超えた  
知識・教養、専攻分野に  
おける知識

課題設定・解決力、  
論理的思考力、創造力

主体性、チームワーク、  
リーダーシップ、協調性、  
柔軟性

## 行動特性

$\alpha$

信州の活性化に係る  
**知識・技能**

$\beta$

信州の活性化に係る課題を  
発見・解決するための  
**思考力・判断力・  
表現力等**

$\gamma$

信州の活性化に係る課題を  
**主体的・対話的に  
発見・解決しよう  
とする態度**



なぜポートフォリオを作らなければならないのか？

● 大学生として、自らの学びを主体的に管理するため.

○ 日々の学びを振り返り、自分がこれまでの学びの中で、どのような資質を育んできたのか、どういった学びが足りないのかを考え、学びのプロセスの改善につなげる.

→ 社会人として生涯学び続けるために必須のスキル.

● ShinXia認証に必須となる.

以下の要件を満たしている者に、ShinXia修了を認定.

○ 必修科目（10単位）の単位修得.

○ ポートフォリオ自己評価の毎学期実施.

## 3-2. 自己評価項目について



信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



# 自己評価項目

$\alpha$

信州の活性化に係る  
**知識・技能**

① 文理を問わず，信州の地域・社会の活性化に向けた知識が身についている。

② 信州の地域・社会の活性化に関する課題を多面的，科学的に分析する技能が身についている。

# 自己評価項目

$\beta$

信州の活性化に係る課題を  
発見・解決するための

**思考力・判断力・**

**表現力等**

③ 信州の地域・社会の活性化に関する知識と技能に基づいて、解決すべき課題を自ら設定し、それを解決できる。

④ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みを、相手に応じてわかりやすく表現できる。

# 自己評価項目

γ

信州の活性化に係る課題を  
**主体的・対話的に**  
**発見・解決しよう**  
**とする態度**

⑤ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みに、答えのない状況でも粘り強く取り組んでいる。

⑥ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みの中で、学習（もしくは取組み）がうまくいくように調整しようとしている。

⑦ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決するために、社会（地域，組織，チーム等）における自身の役割を理解しながら、他者と協働することができる。

# 自己評価項目

$\alpha$

信州の活性化に係る  
**知識・技能**

- ① 文理を問わず，信州の地域・社会の活性化に向けた知識が身につけている。

Point!

授業やそれ以外の学習の中で，「文系」と「理系」の枠組みにとらわれずに信州の複雑な課題を解決するための知識（総合知）をどのくらい身につけているか？

# 自己評価項目

$\alpha$

信州の活性化に係る  
**知識・技能**

Point!

授業やそれ以外の学習の中で、地域や社会の課題解決策を導くにあたって必要なデータ分析や実験，社会調査などの方法をどの程度身につけているか？

② 信州の地域・社会の活性化に関する課題を多面的，科学的に分析する技能が身についている。

# 自己評価項目

$\beta$

信州の活性化に係る課題を  
発見・解決するための

**思考力・判断力・**

**表現力等**

③ 信州の地域・社会の活性化に関する知識と技能に基づいて、解決すべき課題を自ら設定し、それを解決できる。

Point!

授業やそれ以外の学習で学んだ知識や技能を活用しながら、地域・社会で起きている問題に気づき、調査、研究、実験などの計画・実行を通して解決策を考えることができるかどうか？

# 自己評価項目

$\beta$

信州の活性化に係る課題を  
発見・解決するための

**思考力・判断力・**

**表現力等**

Point!

地域・社会の活性化に関する課題解決策を，相手の立場や年齢などを意識しながら，文章やプレゼンテーションなどで相手に分かりやすく伝えることができるかどうか？

- ④ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みを，相手に応じてわかりやすく表現できる。

# 自己評価項目

γ

信州の活性化に係る課題を  
**主体的・対話的に**  
**発見・解決しよう**  
**とする態度**

⑤ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みに、答えのない状況でも粘り強く取り組んでいる。

Point!

なかなかすぐには答えが出ない地域・社会の課題解決に向けて、諦めずに学習・調査・研究などに取り組んでいるか？

⑦ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決するために、社会（地域，組織，チーム等）における自身の役割を理解しながら，他者と協働することができる。

# 自己評価項目

Point!

地域・社会の課題解決に向けた取組みの中で、定期的に自分の学習を振り返り、改善しようと努力しているか？

γ

信州の活性化に係る課題を  
**主体的・対話的に  
発見・解決しよう  
とする態度**

⑥ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みの中で、学習（もしくは取組み）がうまくいくように調整しようとしている。

⑦ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決するために、社会（地域，組織，チーム等）における自身の役割を理解しながら、他者と協働することができる。

# 自己評価項目

γ

信州の活性化に係る課題を  
**主体的・対話的に**  
**発見・解決しよう**  
**とする態度**

⑤ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する

Point!

地域・社会の活性化に向けた課題解決策を考案，または実行する過程（例：グループワーク，PBL）のなかで，チームの一員としての自分の役割を理解しながら，みんなで目標を達成するために努力することができるか？

⑦ 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決するために，社会（地域，組織，チーム等）における自身の役割を理解しながら，他者と協働することができる。

## 注意点：背伸びをしない自己評価

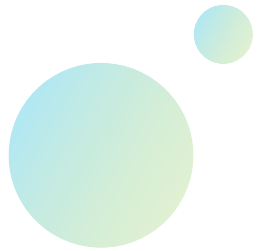
- 成長の記録 ≠ 自己評価スコアが上がり続けること
  - 自己評価を何度か経験するうちに、前の学期よりも評価スコアが下がることもある。
  - 自分自身をより正確に、より根拠をもって評価することができるようになることも成長のうち。



1年生の後期が終わったときには「知識が身についた」と思っていたけど、2年生になってからの学びの中で、「全然足りなかったんだ」と気付いた。

- 地域活性化人材としての自分の資質・能力に納得したうえで、ShinXiaの学びを修められることが重要！

## 3-3. ポートフォリオ操作編へ



信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



## LMS「ポートフォリオ」コースのQRコード

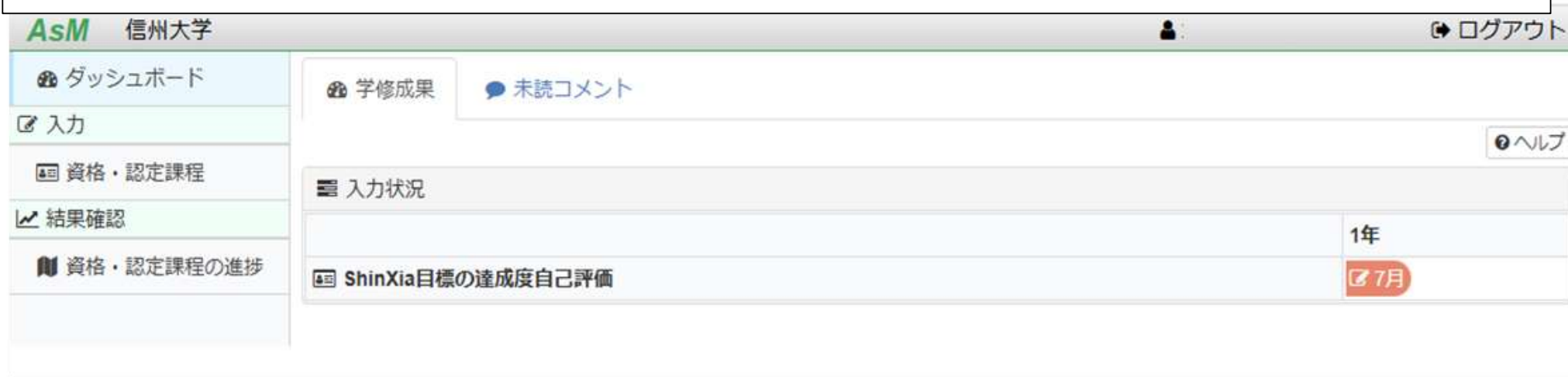


ShinXia-LMSの【信州大学】ポートフォリオからログイン

<https://e-sparc-lms.shinshu-u.ac.jp/course/view.php?id=43>


## ※PC版

Assessmentorに入るとこのような画面が表示されます。



The screenshot shows the Assessmentor dashboard for Shinshu University. The top navigation bar includes 'AsM 信州大学' and a 'ログアウト' (Logout) button. The left sidebar contains menu items: 'ダッシュボード' (Dashboard), '入力' (Input), '資格・認定課程' (Qualification/Accreditation Course), '結果確認' (Result Confirmation), and '資格・認定課程の進捗' (Progress of Qualification/Accreditation Course). The main content area has tabs for '学修成果' (Learning Outcomes) and '未読コメント' (Unread Comments), with the latter selected. Below the tabs, there is a section for '入力状況' (Input Status) and a 'ShinXia目標の達成度自己評価' (Self-evaluation of ShinXia goal achievement) section, which shows a '1年' (1 year) period and a '7月' (7 months) progress indicator.

教員からのコメントがあると未読コメントが表示されます。



The screenshot shows the '未読コメント' (Unread Comments) section of the Assessmentor dashboard. The top navigation bar is the same as in the previous screenshot. The left sidebar is also the same. The main content area has the '未読コメント' (Unread Comments) tab selected. Below the tabs, there is a search bar with fields for '<投稿者>' (Author) and '<本文>' (Text), a '未読' (Unread) dropdown menu, and a '検索' (Search) button. Below the search bar, there is a table with columns: '投稿日' (Posting Date), '投稿者' (Author), '本文' (Text), and '対象' (Target). The table currently shows 'データがありません' (No data available).

# ※PC版

■ 繊維学部 化学材料学科の学生のみメニューがたくさんあります。  
ShinXiaに関する入力画面、参照画面は、他の学生と同じです。



The screenshot shows the ShinXia web application interface. On the left is a navigation menu with items like 'ダッシュボード', '活動記録', '入力', '科目達成度の自己評価', 'DP達成度の自己評価', '学修目録見', '学修計画と振り返り', '資格・認定課程', '結果確認', '科目学修の進捗', 'DP達成度の進捗', '外部試験の結果', '資格・認定課程の進捗', and '学修記録の出力'. The main content area is titled 'AsM 信州大学' and includes a 'ダッシュボード' section with '学修成果' and '未読コメント' tabs. It shows the user's last login time as '2024/10/02 15:07:45'. Below this is an '入力状況' section with a table for '2024' showing '前期' and '後期' periods, and a '1年' (1st year) section with '9月' and '7月' tabs. A '修得単位・GPA' section contains a table with columns for '年度' (Year) and '修得単位数' (Credits Earned), and another table with columns for '年度' (Year) and 'GPA'. Below this is a 'GPA順位 (集計対象: 同学年・該当所属・在籍の学生)' section with the text '化学・材料学科 > GPAがありません'. At the bottom, there is a 'DP達成度\_学修成果' section with a line graph showing a peak at 'A' and a trough at 'B', and a table with columns for '自己評価' (Self-evaluation) and '平均評価' (Average evaluation). The table contains the text 'A 自然や社会を多面的に捉え、それに技術がおよぼす影響を理解する能力'.

## ※PC版



AsM 信州大学

ダッシュボード

入力

資格・認定課程

結果確認

資格・認定課程の進捗

ShinXia目標の達成度自己評価

進捗

1年7月

回答する

α: 信州の活性化に係る知識・技能を有している。に関して

ShinXiaコース

1. 文理を問わず、信州の地域・社会の活性化に向けた知識が身についている。
2. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を多面的、科学的に分析する技能が身についている。

β: 信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力等を有している。に関して

ShinXiaコース

1. 信州の地域・社会の活性化に関する知識と技能に基づいて、解決すべき課題を自ら設定し、それを解決できる。
2. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みを、相手に応じてわかりやすく表現できる。

γ: 信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度を有している。に関して

ShinXiaコース

1. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みに、答えのない状況でも粘り強く取り組んでいる。
2. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みの中で、学習（もしくは取組み）がうまくいくように調整しようとしている。
3. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決するために、社会（地域、組織、チーム等）における自身の役割を理解しながら、他者と協働することができる。

次の学期に向けて

ShinXiaコース

1. 前回、重点的に取り組みたいと思っていたことは、思うように進められましたか。

信州の活性化に向けて、次の学期に重点的に取り組みたいことを記入してください。

資格・認定課程で、「回答する」をクリックするとShinXia目標の達成度自己評価を入力することができます。

すべてに回答ができたなら「保存する」をクリックして終了します。

年次が進むにつれて、上部に最新の対象となる自己評価項目が積みあがっていきます。

# ※PC版

AsM 信州大学 ログアウト

ダッシュボード

入力

資格・認定課程

結果確認

資格・認定課程の進捗

ShinXia目標の達成度自己評価

1年7月

**α：信州の活性化に係る知識・技能を有している。に関して** ShinXiaコース

1. 文理を問わず、信州の地域・社会の活性化に向けた知識が身についている。

<input type="radio"/> ☆☆☆☆☆	強くそう思う
<input type="radio"/> ☆☆☆☆	そう思う
<input type="radio"/> ☆☆☆	どちらでもない
<input type="radio"/> ☆☆	そう思わない
<input type="radio"/> ☆	全くそう思わない

2. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を多面的、科学的に分析する技能が身についている。

<input type="radio"/> ☆☆☆☆☆	強くそう思う
<input type="radio"/> ☆☆☆☆	そう思う
<input type="radio"/> ☆☆☆	どちらでもない
<input type="radio"/> ☆☆	そう思わない
<input type="radio"/> ☆	全くそう思わない

**β：信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力等を有している。に関して** ShinXiaコース

1. 信州の地域・社会の活性化に関する知識と技能に基づいて、解決すべき課題を自ら設定し、それを解決できる。

<input type="radio"/> ☆☆☆☆☆	強くそう思う
<input type="radio"/> ☆☆☆☆	そう思う
<input type="radio"/> ☆☆☆	どちらでもない
<input type="radio"/> ☆☆	そう思わない
<input type="radio"/> ☆	全くそう思わない

実際の入力画面

# ※PC版

AsM 信州大学

ダッシュボード

資格マップ 履修状況

ShinXiaコース

未履修 不合格 履修中 合格

マーク ○ ○ △

重要度 3 2 1

分野	科目	選必区分	単位数	配当	評価	α 知識・技能 α1 知識・技能	β 断力・表現 β1 断力・表現	γ 態度 γ1 態度
考 的 数 理	[G1B1A1] 統計リテラシー	選択	2	1年前期	◎			
	[G0A200] データサイエンスリテラシー	必修	1	1年前期後期	要 ◎			
科 学	[G2B5C1] 化学の世界 (ShinXia)	選択必修	2	1年後期	◎	◎		
	[G2B5D1] 生物学の世界 (ShinXia)	選択必修	2	1年前期	◎	◎		
	[G2B5E1] 地学の世界 (ShinXia)	選択必修	2	1年前期	要 ◎	◎		
環 境 学 工	[G2B5F1] 工学入門 (ShinXia)	選択必修	2	1年後期	◎	◎		
ア リ ヘ ラ ル	[G2B4F1] 信州学	必修	1	1年前期後期	○			○
	[G2B4F2] 立志学	選択	1	1年前期後期	○			○
	[G2B4J1] ミクロ経済学入門	選択	2	1年前期後期	要 ◎	◎		
	[G2B6B1] 社会福祉の考え方	選択	2	1年前期	◎	◎		

資格マップではShinxiaプログラムの対象科目の履修状況と各授業と3つの能力との関係が確認できます。

# ※PC版



達成度の画面では、成績による3つの能力の達成度と自己評価による達成度の評価を確認することが可能です。

年度学期ごとに3つの能力がどのように積みあがっているかも確認することが可能です。

## ※スマホ版

Assessmentorに入るとこのような画面が表示されます。右上の三本線をクリックするとメニューが表示されます。



教員からのコメントがあると未読コメントが表示されます。



## ※スマホ版

AsM 信州大学

ShinXia目標の達成度自己評価

進捗

1年7月

**α: 信州の活性化に係る知識・技能を有している。に関して**

● ShinXiaコース

1. 文理を問わず、信州の地域・社会の活性化に向けた知識が身についている。
2. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を多面的、科学的に分析する技能が身についている。

**β: 信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力等を有している。に関して**

● ShinXiaコース

1. 信州の地域・社会の活性化に関する知識と技能に基づいて、解決すべき課題を自ら設定し、それを解決できる。
2. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みを、相手に応じてわかりやすく表現できる。

**γ: 信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度を有している。に関して**

● ShinXiaコース

1. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みに、答えのない状況でも粘り強く取り組んでいる。
2. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決する取組みの中で、学習（もしくは取組み）がうまくいくように調整しようとしている。
3. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を解決するために、社会（地域、組織、チーム等）における自身の役割を理解しながら、他者と協働することができる。

次の学期に向けて

● ShinXiaコース

1. 前回、重点的に取り組みたいと思っていたことは、思うように進められましたか。

信州の活性化に向けて、次の学期に重点的に取り組みたいことを記入してください。

資格・認定課程で、「回答する」をクリックするとShinXia目標の達成度自己評価を入力することができます。

すべてに回答ができたなら「保存する」をクリックして終了します。

年次が進むにつれて、上部に最新の対象となる自己評価項目が積みあがっていきます。

## ※スマホ版

AsM 信州大学

ShinXia目標の達成度自己評価

1年7月

α: 信州の活性化に係る知識・技能を有している。に関して

● ShinXiaコース

1. 文理を問わず、信州の地域・社会の活性化に向けた知識が身についている。

☆☆☆☆☆  
強くそう思う

☆☆☆☆☆  
そう思う

☆☆☆☆☆  
どちらでもない

☆☆☆☆☆  
そう思わない

☆☆☆☆☆  
全くそう思わない

2. 信州の地域・社会の活性化に関する課題を多面的、科学的に分析する技能が身についている。

☆☆☆☆☆  
強くそう思う

☆☆☆☆☆  
そう思う

☆☆☆☆☆  
どちらでもない

☆☆☆☆☆  
そう思わない

☆☆☆☆☆  
全くそう思わない

実際の入力画面

# ※スマホ版

AsM 信州大学

資格マップ 達成度

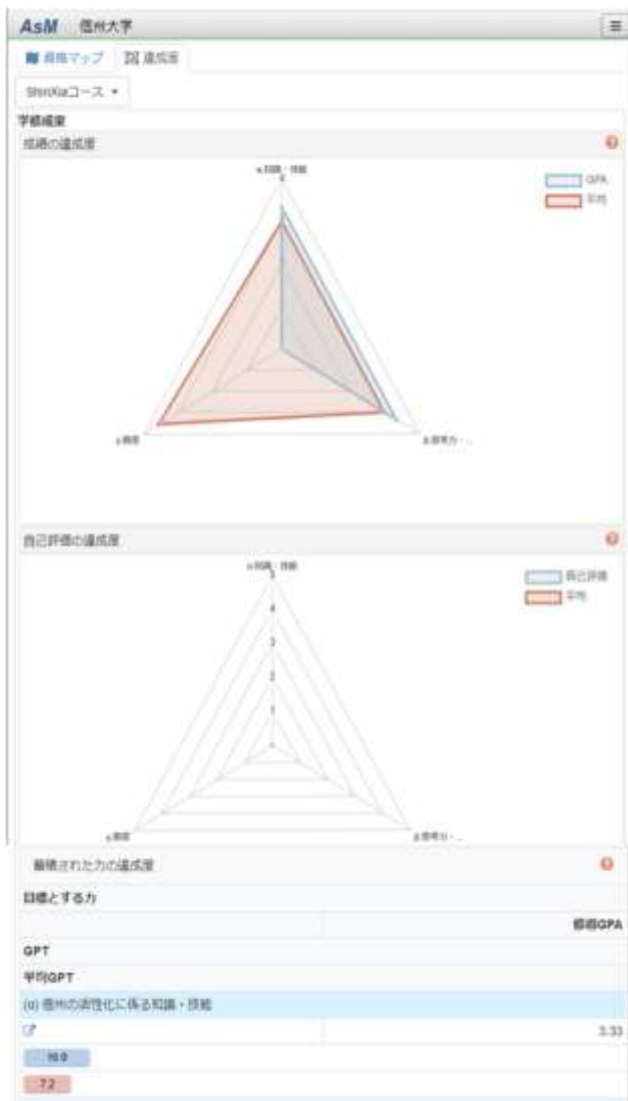
ShinXiaコース

未履修 不合格 履修中 合格

分野	科目	評価	α	β	γ
			α1	β1	γ1
科学的数理	[G1B1A1] 統計リテラシー 選択 / 2単位 / 1年前期	◎			
	[G0A200] データサイエンスリテラシー 必修 / 1単位 / 1年前期後期	優 ○			
理学	[G2B5C1] 化学の世界 (ShinXia) 選択必修 / 2単位 / 1年後期	◎ ◎			
	[G2B5D1] 生物学の世界 (ShinXia) 選択必修 / 2単位 / 1年前期	◎ ◎			
	[G2B5E1] 地学の世界 (ShinXia) 選択必修 / 2単位 / 1年前期	優 ◎ ◎			
環境学工	[G2B5F1] 工学入門 (ShinXia) 選択必修 / 2単位 / 1年後期	◎ ◎			
アーツ	[G2B4F1] 信州学 必修 / 1単位 / 1年前期後期	○ ○			
	[G2B4F2] 立志学 選択 / 1単位 / 1年前期後期	○ ○			
	[G2B4J1] ミクロ経済学入門 選択 / 2単位 / 1年前期後期	優 ◎ ◎			
	[G2B6B1] 社会福祉の考え方 選択 / 2単位 / 1年前期	◎ ◎			

資格マップではShinxiaプログラムの対象科目の履修状況と各授業と3つの能力との関係が確認できます。

# ※スマホ版



達成度の画面では、成績による3つの能力の達成度と自己評価による達成度の評価を確認することが可能です。

年度学期ごとに3つの能力がどのように積みあがっているかも確認することが可能です。